

2025.5.15

沖縄平和行進

全港湾東北地方青年婦人部
書記長 渡邊 健也

沖縄平和行進報告書



5月16日から19日まで沖縄平和行進に参加し、三単産の団長を務めました。初日は結団式が行われ、全国から集まった仲間とともに、平和への決意を一人ひとりが表明し、団結を深めることができました。二日目は米軍基地周辺を約10キロにわたり行進し、「基地はいらない」「命を守れ」と全力でシュプレヒコールを上げました。行進中には地域住民の方々からの温かい応援を受け、大きな励みとなりました。三日目は平和祈念資料館やひめゆりの塔を訪問し、戦争の悲惨な歴史と向き合いました。展示された資料や生存者の証言からは、メディアでは伝わらない「生の戦争の痕跡」を感じ取ることができ、胸が締めつけられる思いでした。今回の行動を通して、現地に足を運び、自分の目で見て、耳で聞き、心で感じることの大切さを改めて実感しました。これからは、この貴重な経験を家族や友人、そして職場の仲間伝えていくとともに、戦争のない平和な社会の実現に向けて、自分ができることから一歩ずつ行動していきたいと思ひます。





沖縄平和行進報告書

今回、私は初めて平和行進に参加し、想像していたより多くの方が同じ願いを持っていることに、とても驚きました。当日沖縄は晴天で約 12 km の道のりは短くはありませんでしたが、共に歩いた方々と交流があったおかげで最後まで歩くことができました。特に、同じ全港湾のメンバーとは、共通の目的を持つ仲間として連帯感はより一層増したと思います。また本土組と平和への活動について行動できたことは、私にとって良い経験となりました。今回の活動を通して、様々な立場から平和について考える良い機会となり、平和への思いは沖縄だけの問題ではなく、日本全体で行動していくことが大事だと改めて感じました。まだまだ世界各地で紛争等が続いている中、多くの米軍基地が存在する沖縄から、平和への意識を高め、全国へと繋げていきたいと感じました。今回の経験を活かし、沖縄県民の一人として、様々な活動を通じて、平和な社会の実現に貢献していきたいと思っています。

2025.5.15

沖縄平和行進

